



GAS MUSEUM レコード鑑賞会

“夏の名曲を聴く”

日時:2019年9月1日(日)13時30分～14時30分

会場:ガスミュージアム セミナールーム

参加費:無料

参加定員:15名

申し込み方法

下記電話にて予約受け付けます。

ガスミュージアム TEL:042-342-1715



内容に関する質問等は、下記へ
お願いいたします。

ミュージックトラベル 担当 本田
080-3467-4303



ガスミュージアム 東京都小平市大沼町4-31-25

TEL:042-342-1715

ガスミュージアム レコード音楽鑑賞会

2019年9月1日 日曜日 13時30分～14時30分 ミュージック・トラベル

「夏の日の恋」 曲 マックス・スタイナー 演奏 パーシーフェイスオーケストラ

「夏の日の恋」(Theme from a Summer Place)は、1959年に公開された映画『避暑地の出来事』(A Summer Place)の主題歌。作詞はマック・ディスカント、作曲はマックス・スタイナーにより、ユーゴー・ウインターが歌った。パーシー・フェイスによって録音されたものは、この曲の最も有名なバージョンである。1960年に9週連続全米ヒットチャートの1位を記録、1961年のグラミー賞を受賞した。グラミー賞を映画主題歌およびインストゥルメンタル曲が受賞したのはこれが初めてであった。

「引き潮」(Ebb Tide) ポピュラー音楽のスタンダード・ナンバー。

1953年にアメリカ合衆国のハープ奏者のロバート・マックスウェル(英語版)が作曲。作詞家カール・シグマン(英語版)が歌詞を後からつけた。歌曲としてもスタンダード化しているが、インストゥルメンタルでのムード音楽定番曲として広く知られる。

演奏 フランク・チャックスフィールド

1954年、冒頭と最後に浜辺の渚の音とかもめの鳴き声を入れて、独自のストリング・アレンジを施して発売。

英デッカの優秀録音も手伝い、全英、全米でヒットチャートの第1位となった。

「ひまわり」(原題: I Girasoli) 曲 ヘンリー・マンシーニ

マルチェロ・マストロヤニとソフィア・ローレンが主演した、1970年公開のイタリア・フランス・ソ連の合作映画。日本での公開は1970年9月12日。監督はネオレアリズモ(イタリアンリアリズム)の一翼を担ったヴィットリオ・デ・シーカ。音楽をヘンリー・マンシーニが担当し、数多くの映画音楽を担当した彼の作品の中でも特に評価は高く、主題曲は世界中でヒットした。戦争によって引き裂かれた夫婦の行く末を悲哀たっぷりに描いた作品で、エンディングでの地平線にまで及ぶ画面一面のひまわり畑が評判となった。

「サマータイム」 エラ・フィッツジェラルド&ルイ・アームストロング

ガーシュウインの名作オペラ「ポーギとベス」の決定的ジャズ・ヴァージョンより。エラ・フィッツジェラルド&ルイ・アームストロングが個性的な表情を見せて歌い上げる圧巻の「サマータイム」からクライマックスまで、ドラマティックかつ感動的な物語が続いていく。

共演 ラッセル・ガルシア、ラッセル・ガルシア・オーケストラ、ジャッド・コンロン・シンガーズ

録音年:1957年8月18日、19日、28日&10月14日/収録場所:ロサンゼルス

「想い出の渚」 ザ・ワイルドワンズ

1966年11月5日に発売されたザ・ワイルドワンズのデビューシングル。作詞は鳥塚繁樹、作曲は加瀬邦彦である。加瀬邦彦の12弦ギターで大ヒットし、100万枚以上を売り上げた。発売当時はモノ・ミックスでのシングル発売だったが、後に発売されたLPではステレオ・ミックスされて発売されている。

「ONLY WITH YOU」 山下達郎

1984年6月20日に発売された、山下達郎のサウンドトラック・アルバム「BIG WAVE」より。

「ONLY WITH YOU」(3'41") lyrics by Alan O'Day, music by Tats Yamashita

インストゥルメンタルバージョンが現在まで『サンデー・ソングブック』のオープニングとして使われている。

「CAT'S EYE」 杏里

1983年12月5日発売された、杏里の6枚目のオリジナル・アルバム『Timely!!』より。角松敏生をプロデューサーに迎えて同年、大ヒットを記録したシングル『CAT'S EYE』と『悲しみがとまらない』を収録。ジャケットやインナースリーブはハワイで撮影された。

「VELVET MOTEL」,「カナリア諸島にて」 大滝詠一

1981年3月21日にリリースされた大滝詠一のスタジオ・アルバム『A LONG VACATION』(ア・ロング・バケーション)より。

大滝最大のヒット作。1982年のCD発売後、オリコン初のミリオンセールス作品でもある。1970年代まではまだ知名度が低かった大滝の名が世間にも広まり、音楽業界では「(ナイアガラでのソロ活動開始から)5年も売れなかったアーティストが突如売るのは奇跡」と言われるほどの出来事だった。

「グッバイ・サマー・ブリーズ」 竹内まりや

竹内まりや 1978年発売のデビューアルバム『BEGINNING』より。